

長門市俵山地区
小さな拠点づくり
基本構想

令和4年3月

長門市

〈目次〉

1.1	小さな拠点づくりの趣旨	1
1.2	小さな拠点づくりとは	2
1.3	小さな拠点づくり基本構想の位置づけ	2
2.1	俵山地区の現状	3
2.2	人口の推移	6
2.3	住民の意向	8
2.4	住民の意向と課題の整理	14
3	俵山地区での2大プロジェクト	15
4.1	小さな拠点づくりで目指す 基本理念（コンセプト）	16
4.2	小さな拠点整備の3つの基本指針	17
4.3	小さな拠点の実現に向けた 基本指針と取組体系	18
4.4	ランドデザイン	20
5	構想の推進	21
6	資料	22

長門市は、山口県の北西部に位置し、北側の海岸線は北長門海岸国定公園に指定され、日本海の荒波に浸食された、雄大な自然景観を生み出しています。また、古くから捕鯨や漁業が盛んに行われ、多くの漁港が点在しています。一方、文化面では明治維新の礎を築いた「村田清風」や「周布政之助」、童謡詩人「金子みすゞ」、シベリヤ・シリーズで知られる画家「香月泰男」といった偉人の輩出も多く、長門市の文化を深く魅力あるものにしています。また、市内には風情も効能も異なる5つの温泉郷を有し、多くの観光客が訪れています。

ここ俵山地区は、本市の南、内陸側に位置し、市内で唯一、県山陽側の水系を抱える地域であり、昭和29年3月の昭和の大合併以前の俵山村を構成していた10自治会により形作られる生活圏です。本圏域は、基幹的集落である大羽山区と、これに隣接し俵山温泉街のある湯町区を中心として、そこから放射線状に伸びる山あいには8つの集落が存在しています。

基盤となる産業は、「俵山温泉」を核とする観光業と、山あいの圃場で米作をはじめとする農業や、それを囲む森林を活用した林業などの第一次産業です。

しかしながら、時代の変化により、第一次産業の後継者不足、日帰り温泉施設の増加による湯治需要の減退などで、旅館経営が成り立たなくなるなど、次第に地域の活力は失われていきました。

このような中、国の事業として山陰道の一部となる俵山豊田道路が事業化され、大羽山区柿ノ木川地区に俵山温泉インターチェンジ（仮称）の建設が計画されています。この地域は先に開通した県道38号美祢油谷線の結束点となることから、今後、重要な交通の拠点となることが想定されます。また、長年の懸案であった県の木屋川ダム再開発事業（嵩上げ）も事業が始まり、対象地域を含む大羽山区を中心に水源地整備事業の実施が見込まれています。

このような現状を踏まえ、俵山地区での暮らしを守り、地域コミュニティを維持して、俵山地区で俵山温泉インターチェンジ（仮称）周辺を中心とした「小さな拠点」を構築し、地区外との人流、物流の動きを起こしながら、「住みよい」「住み続けたい」まちづくりのため、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる元気ある地域を目指していきます。

そこで、既存施設の有効活用を含めた「小さな拠点づくり」の指針とするため、ここに「俵山地区小さな拠点づくり基本構想」として整理します。



1.2 小さな拠点づくりとは

中山間地域等の集落生活圏（複数の集落を含む生活圏）において、安心して暮らしていく上で必要な生活サービスを受け続けられる環境を維持していくために、地域住民が、自治体や事業者、各種団体と協力・役割分担をしながら、各種生活支援機能を集約・確保する取組や地域の資源を活用し、しごと・収入を確保する取組を「小さな拠点」づくりといいます。

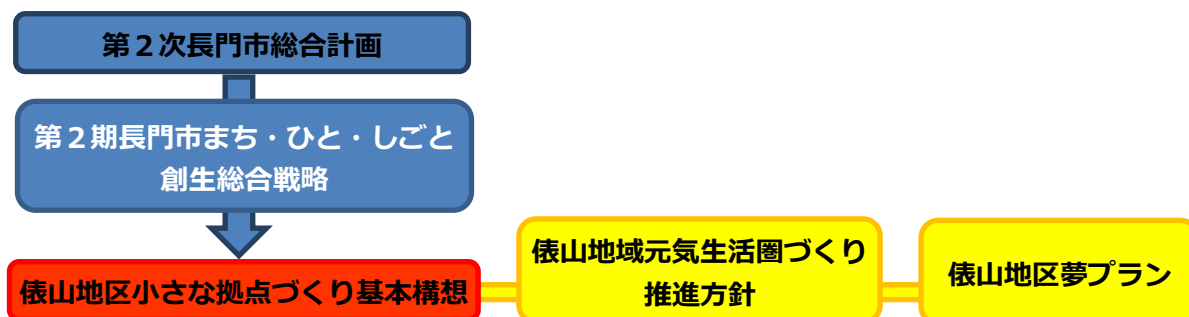
[「小さな拠点」づくりの取組イメージ]



（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局住み慣れた地域で暮らし続けるために～地域生活を支える「小さな拠点」づくりの手引き～から引用）

1.3 小さな拠点づくり基本構想の位置づけ

この構想は、第2次長門市総合計画や第2期長門市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、人口減少社会に適応した持続可能な地域づくりの視点から、市民や地域協働体の参画による生活圏域内における「小さな拠点」の整備が位置付けられています。また、俵山地区においても俵山地域元気生活圏づくり推進方針の中で、インターチェンジ設置に向けた「小さな拠点」整備を掲げています。



2.1

依山地区の現状

1. 山口県長門市依山地区

依山地域は長門市の南西部に位置し、標高 672mの一位ヶ岳をはじめとした連山に囲まれ、平地でも標高 140mという渓谷型高冷地です。

地域は 10 の自治会で構成され、農業を中心に観光業などの地域産業が基幹産業として地域経済を支えてきました。

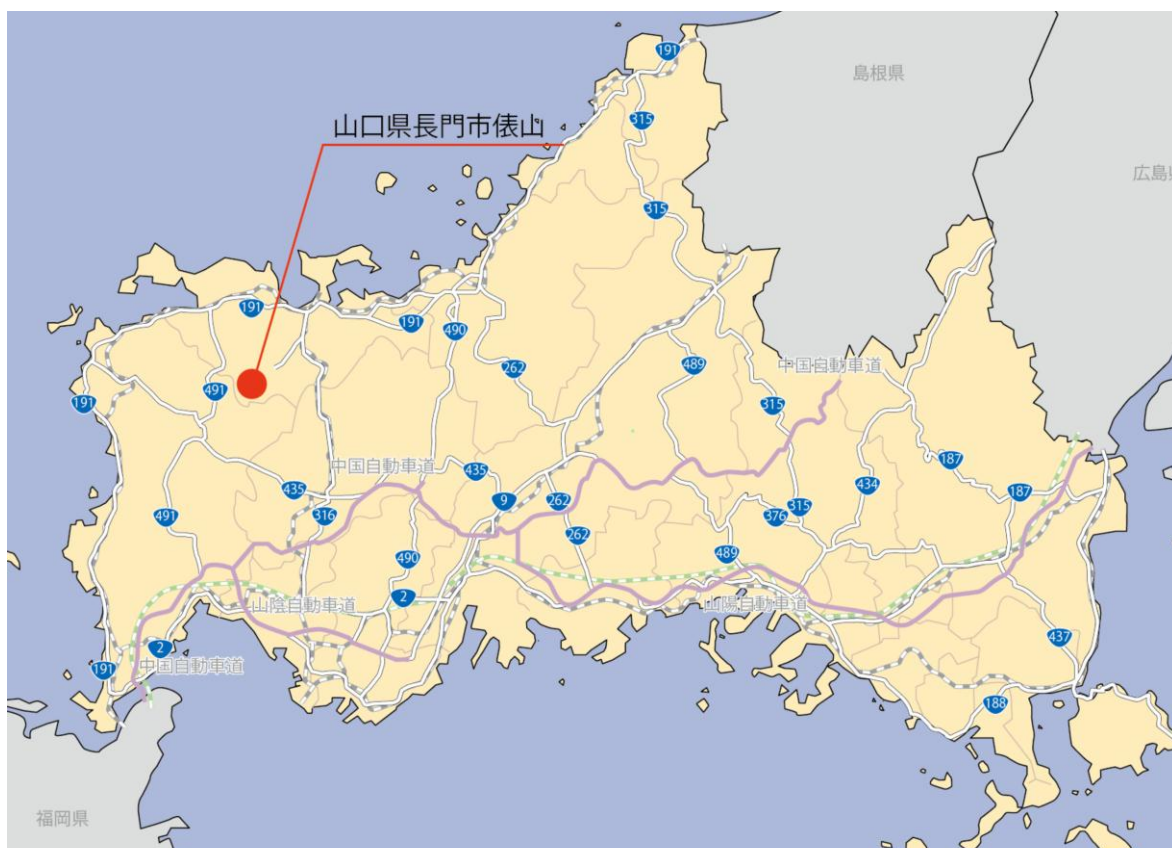
令和元年（2019 年）に山陰道長門・依山道路が開通したことにより、長門市中心部とのアクセスも改善され、交通インフラの充実による地域住民の生活における利便性も高まってきました。

豊かな自然や農地に囲まれた地域では、古来、多様な農産物を栽培する農業地帯として栄え、現在では猪や鹿といったジビエ肉の産地としても知られるようになってきました。

また、地域には、延喜 16 年（916 年）に白猿によって発見され、江戸時代には毛利家直轄の湯治場として歴代藩主に愛されてきた依山温泉があり、毎年、多くの入湯客や宿泊客が良質な泉質に癒されています。

さらに観光面では、しゃくなげ園や麻羅観音、七段の滝、七重川河川公園などの観光スポットを有し、長門市を代表する観光地としても知られています。

この他にも、天然芝と人工芝が整備されているヤマネスタジアムがあり、長門市におけるスポーツの拠点としても注目されています。



(1) 構成集落

集 落 数	うち小規模・ 高齢化集落数	エリアの単位	集 落 名（自治会）
10 集落	1 集落	小学校区	小原区、木津区、郷区、黒川区、大羽山区、湯町区 上政区、上安田区、下安田区、七重区

(2) 人口等 (令和3年12月1日現在)

世 帯 数	総 人 口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	高齢化率
456 世帯	952 人	63 人	376 人	513 人	53.9%

(3) 地域コミュニティ組織の名称

名 称	設立年月日
俵山地区発展促進協議会 (俵山まちづくり委員会)	昭和 47 年 9 月 1 日 (平成 28 年 1 月 29 日)

(4) 地域の計画

名 称	作成年月日
俵山地区夢プラン	平成 28 年 4 月 1 日

(5) 生活環境の状況

関 連 施 設	箇所数	施 設 名（所在集落名）
行 政 サ ー ビ ス	市 町 支 所	1 長門市俵山出張所（大羽山区）
	公 民 館	1 長門市俵山公民館（大羽山区）
	駐 在 所	1 長門警察署 俵山警察官駐在所（湯町区）
子 育 て ・ 教 育	保 育 所	
	幼 稚 園	1 俵山幼稚園（大羽山区）
	小 学 校	1 長門市立俵山小学校（大羽山区）
	中 学 校	
医 療 ・ 福 祉	病 院 ・ 診 療 所	1 (医) 生山会たわらやま介護医療院 たわらやま診療所（湯町区）
	福 祉 施 設	2 児童養護施設俵山湯の家（湯町区） 老人保健施設かつら苑（湯町区）
生 活 関 連	商 店	3 Yショップ俵山店（湯町区）、俵屋（湯町区） 湯久里倶楽部（湯町区）
	ガソリンスタンド	1 R A D大隅石油(株)俵山店（郷区）
	金 融 機 関	1 J A 山口県農業協同組合俵山支所（湯町区）
	郵 便 局	1 俵山郵便局（湯町区）
交 通 機 関	バ ス 停	12 俵山温泉他
	J R 駅	－

■主要施設の分布図



俵山地域 大羽山付近

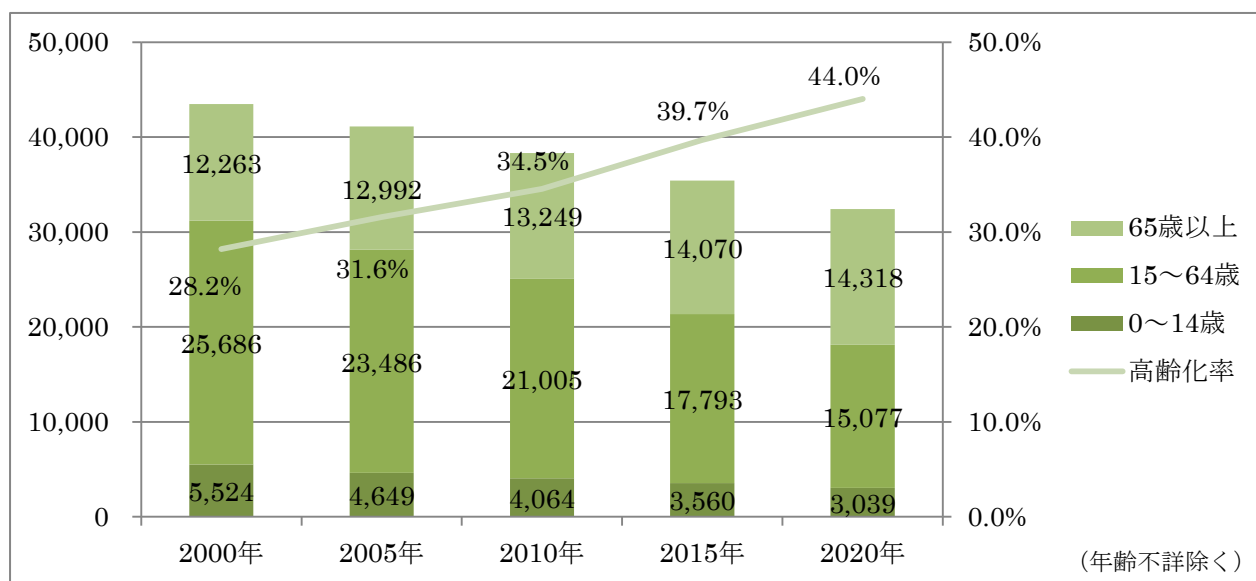
2.2

人口の推移

■長門市の人口及び高齢化率の推移

長門市の人口は、2000年には43,000人を超えていましたが、2005年に長門市、三隅町、日置町、油谷町による市町村合併を行ったものの2020年にはおよそ32,500に減少しています。

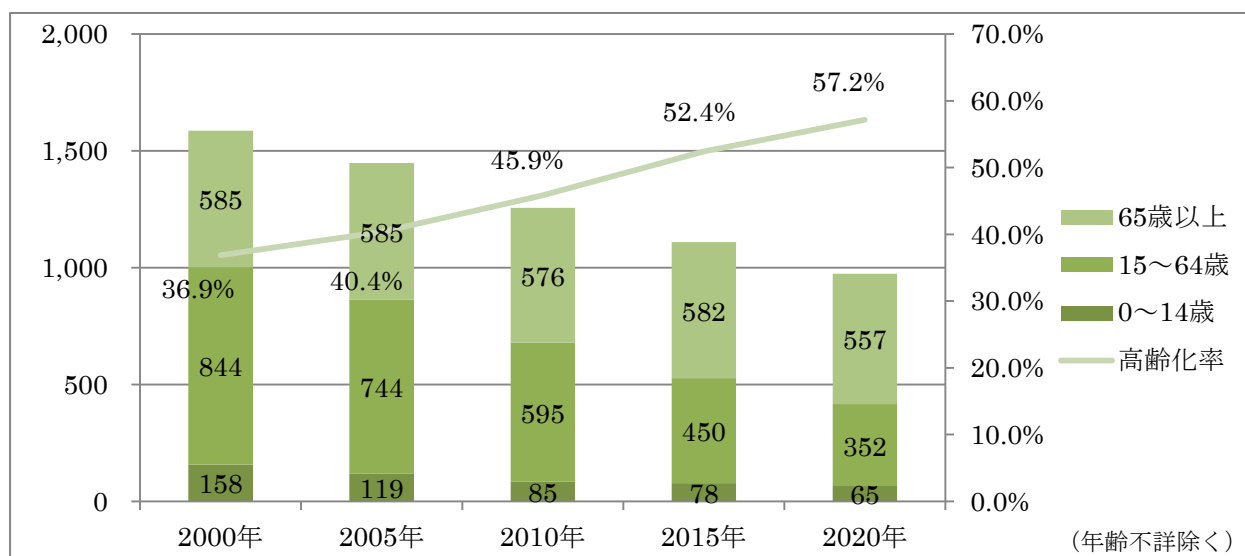
また、高齢化率も2000年の28.2%から上昇を続け、2020年には44.0%となっています。



■俵山地区の人口及び高齢化率の推移

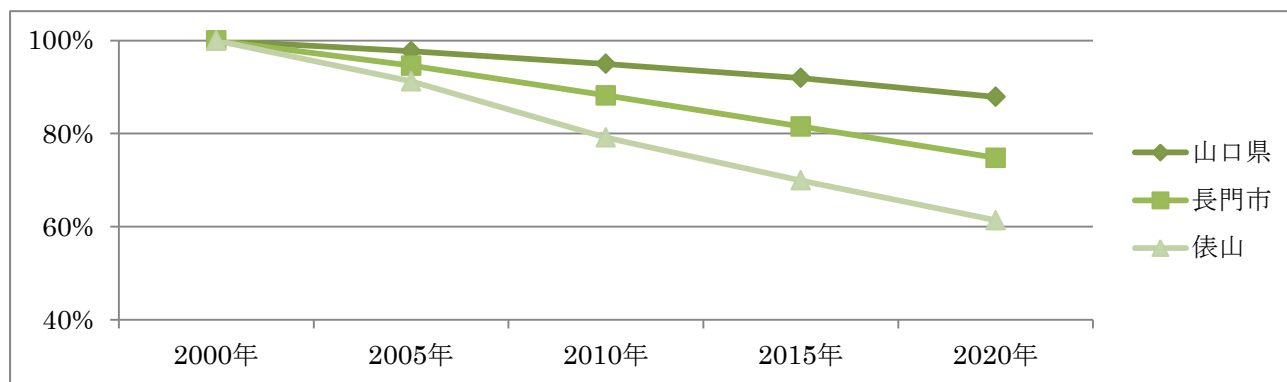
俵山地区の人口は、2000年には1,500人を超えていましたが、2020年には、およそ970人となり、大幅な人口減少が続いています。

また、人口減少に合わせて高齢化率も高くなり、2000年と2020年を比較すると20.3%上昇しています。



■ 俵山地区の 2000 年を基準とした人口割合

俵山地区の 2000 年を基準とした人口減少率は、2020 年には約 40%の減少となり地域を取り巻く環境は厳しさを増しています。



<人口データ：国勢調査>



(1) 住民アンケート結果（抜粋）【令和2年10月実施】

・小さな拠点に欲しい機能（施設）をお答えください。

(N=269) (M.T. =260.2)

「コンビニエンスストア」との回答が最も多く、「ATM」や「ガソリンスタンド」等の生活に必要な機能に対する意見があります。

また、「地場産品を使った食堂」や「農産物加工販売所、農産物集出荷施設」等、地域の産品を活用・販売できる仕組み作りも求められています。

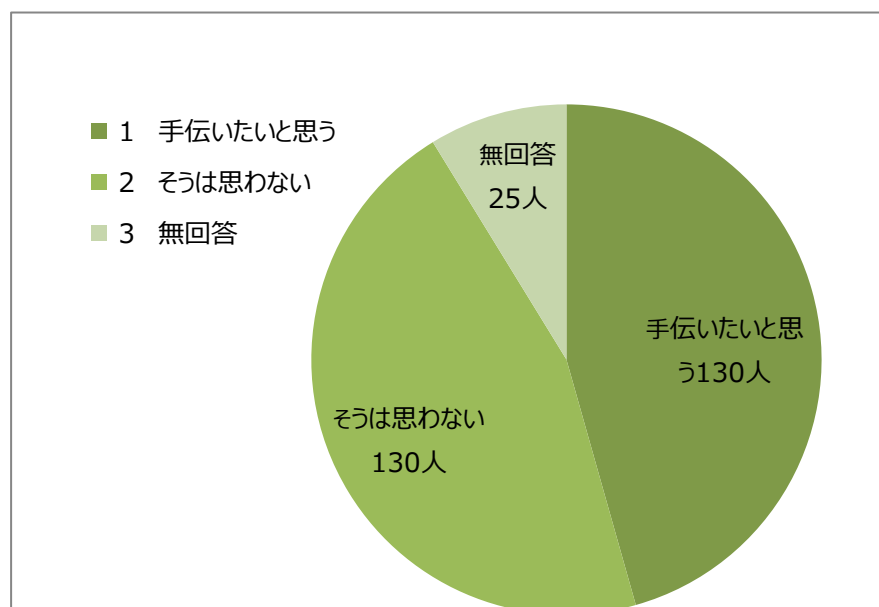
さらに、観光面においては観光案内所や地域内にある温泉に関連した「足湯」や「温泉水販売所」といった意見も上がっています。

機能（施設）名	回答数	割合(%)
コンビニエンスストア	136	50.56
地場産品を使った食堂	87	32.34
農産物（ジビエなど）加工販売所	83	30.86
農産物集出荷施設	77	28.62
A T M（現金自動預払機）	76	28.25
ガソリンスタンド	71	26.39
観光案内所	60	22.30
パン工房	37	13.75
高齢者向けアパート	29	10.78
足湯	16	5.95
温泉水販売所	11	4.09
その他	17	6.32

その他意見・・・道の駅、スーパーマーケット、ドラッグストア、精米所、
コインランドリー、温泉施設など

- ・小さな拠点（中核施設）は、地域で運営していくことが重要になります。
あなたは、こうした地域運営を手伝いたいと思いますか。（N=285）

「手伝いたいと思う」と答えた人と「そうは思わない」と答えた人は130人と同数となっています。



俵山地域

(2) ワークショップでの意見【令和3年11月開催】

■ 基本理念に入りたい言葉、フレーズ

11月18日開催（一般）

単語	回数
俵山	3
若者	3
拠点	2
まち	2
実現	2
通勤	2
健康	2
温泉	2
できる	2
少子高齢化	1
ケタ	1
ハブ	1
交通	1
デメリット	1
地区	1
像	1
人口	1
メリット	1
教育	1
子育て	1
将来	1
バランス	1
全体	1
自然	1
可能性	1
場所	1
のばせる	1
目指す	1

11月23日開催（女性・若者）

単語	回数
健康	12
俵山温泉	7
農業	5
若者	5
自然	5
生かす	5
湯治場	4
活かす	4
癒す	4
まちづくり	3
まち	3
維持	3
テーマ	3
住む	3
続ける	3
共生	2
高齢者	2
人口	2
風景	2
豊か	2
活用	2
場所	2
増やす	2
住みやすい	2
あたたかい	2
共助	1
自然保護	1
調和	1
世帯	1
地帯	1
伝統	1
発展	1
仕組み	1
文化	1
動物	1
地域	1
多く	1
子ども	1
システム	1
すべて	1
デザイン	1
環境	1
生活	1
頭	1
集える	1
訪れる	1
保つ	1
揃う	1
守る	1
古い	1
新しい	1

類似語句集計

単語	出現回数
健康・癒す	18
俵山温泉・湯治場・温泉	13
若者・高齢者・子ども	11
自然・風景・自然保護	9
生かす・活かす	9
まち・まちづくり	8
維持・続ける	6
農業	5
住む・生活・住みやすい	5

■交流拠点に必要と思うもの、欲しいもの

「一般」の意見では、温泉を活用した意見が最も多く、「貸別荘」や「空き家カフェ」、「野菜等の直売所等」、集客につながる取り組みが多く見受けられました。

「女性・若者」では、ドッグランが最も多く、「スポーツ拠点や遊具・公園」、「スポーツの場・アスレチック・ジム」等、屋内外で充実した時間を過ごせる環境の整備に関する意見が多かったです。

全体の意見をまとめると屋外活動・体験・スポーツに関連するコンテンツが最も多く、地区が誇る温泉、飲食店と続いています。

ワークショップで多かった傾向上位

屋外活動・体験・スポーツ	38
温泉	18
飲食店	11
文化・芸術・歴史	11
地場産品・特産品	9
住宅	7

11月18日開催（一般）

温泉利用・清山荘の再利用	8
仕事をつくれる人が集まる	4
貸別荘	4
空き家カフェ	4
美術・音楽	2
図書館	2
映画	2
ホール	2
料理専門学校	2
高齢住宅（旅館経営者）	2
野菜等の直売所	2
キャンプ場	1
高速バスのIC・SA	1
旅の途中で立ち寄る	1
高齢者利用	1
地域と訪問者との人口交流	1
子育て住宅	1
貸田畑	1
温泉客を増やす	1
歴史巡り	1
駐車場・トイレ	1
スポーツ大会	1

11月23日開催（女性・若者）

ドッグラン	8
アウトドアが出来る場所	4
貸農地	4
農家レストラン	4
スポーツ拠点	4
健康ランド	4
天体観測	3
遊具・公園	4
スポーツの場・アスレチック・ジム	3
森林を活用したトレッキング	2
ジビエ	2
農家自慢の作物販売	2
漬物上手のおばあちゃんに出品してもらう	2
温泉・足湯	3
体験施設	1
ワーケーション	1
子供達と遊べる場所	1
地元の物を使った特産品	1
弁当	1
自由に発表できるステージ	1
食事をする休憩所（飲食店）	2
外国からの人口を増・交流人口拡大	1
自然を活用したイベント	1
IT 拠点	1
温泉を生かした健康づくり・人口の増加	1
ルネッサたわらやま（劇場）	1
公民館でサロン	1
温泉フリーパス	1

■生活づくりに必要なもの、欲しいもの

「一般」の意見では、課題となっている上水道の整備という意見が最も多く、食品や生活雑貨等を身近に購入できるコンビニ・スーパー、交通に必要なガソリンスタンド等の意見が続いています。

「女性・若者」では、高齢者のシェアハウスという意見が多いほか、高齢者への配慮につながる意見が見受けられた。この他、教育施設や総合病院、児童クラブなど家族、子育てに関する生活インフラの意見も散見されました。

全体では、高齢者に関する事項が最も多く、買い物対策、水道、教育・こどもに関する機能が続いています。

ワークショップで多かった傾向上位

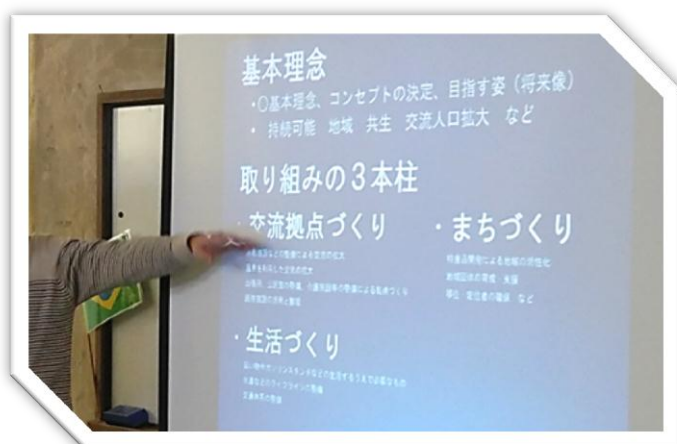
高齢者	10
買い物・宅配	8
水道	6
教育・子ども	6

11月18日開催（一般）

上水道の整備	5
コンビニ・スーパー	4
ガソリンスタンド	2
飲食店	2
新規住宅	1
温泉活用	1
高齢者利用	1
健康（カラダとココロ）	1
貸農園・田んぼ休耕地活用	1
古民家の直営所	1
高齢者の見守り	1
郵便局	1

11月23日開催（女性・若者）

高齢者用シェアハウス	6
0歳～大学生の教育施設	2
バリアフリー空き家対策	2
ネット環境・インフラ整備	2
デマンドフリーパス	2
駐車場確保	2
総合病院	2
コンビニ	2
コインランドリー	2
移住制度の充実・サポート	2
老人でも働ける仕事	1
店の利用を促すしかけ（ポイントなど）	1
水の確保	1
農業、農作物加工場	1
年配者の知恵の活用	1
トイレ休憩施設	1
宅配サービス（食料・日用品）	1
児童クラブ	1
米作りのこと	1
コミュニティビジネスを学び実践する場	1
子育てしやすい環境（0歳保育）	1
カエル園のようなネイチャースクール	1



■まちづくりに必要なもの、欲しいもの

「一般」ではすぐに「住める家・子育て世帯向けの集合住宅」が最も多く「移住者サポート窓口」「住宅用地」等、居住に関する意見がみられた。また、教育機関や行政機関の機能も求められています。

「女性・若者」では、「インターネット利用場所」という通信インフラ環境への関心が最も多く、教育機関・働く場所に関する意見も見られました。

全体では、「住宅・居住」に関する意見が最も多く、生活環境、ビジネス、公共施設、教育と続いています。

ワークショップで多かった傾向上位

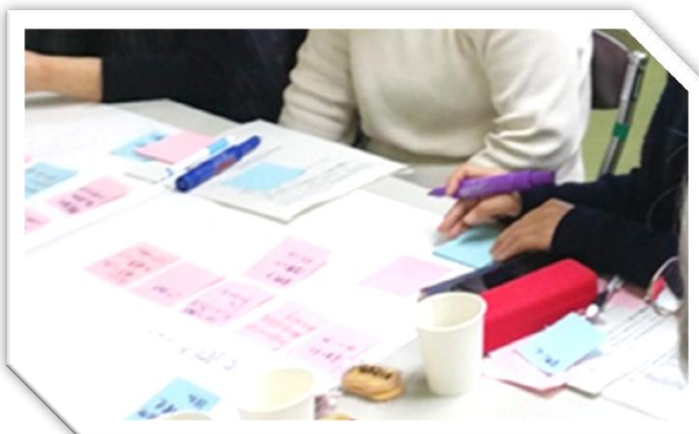
住宅・居住	13
生活環境	11
ビジネス	9
公共施設	9
教育	8

11月18日開催（一般）

すぐに住める家・子育て世帯向けの集合住宅	4
大学の誘致	2
移住者サポート窓口	2
自分に素直になれるまち	2
飲食店	4
中学校の再利用	2
文教区（現所在地付近）	2
住宅用地	2
公民館支所は学校周辺（中学校跡地）	2
幼稚園は公民館と一体的な建物	2
働く場所	1
観光とビジネスをつなぐ（温泉で人集め）	1
家が決まるまでの住める場所	1
旅館オーナーの住める場所	1
中学校の整備（耐震・再生）	1
色んな会社を誘致（イベント場として）	1
合宿施設	1

11月23日開催（女性・若者）

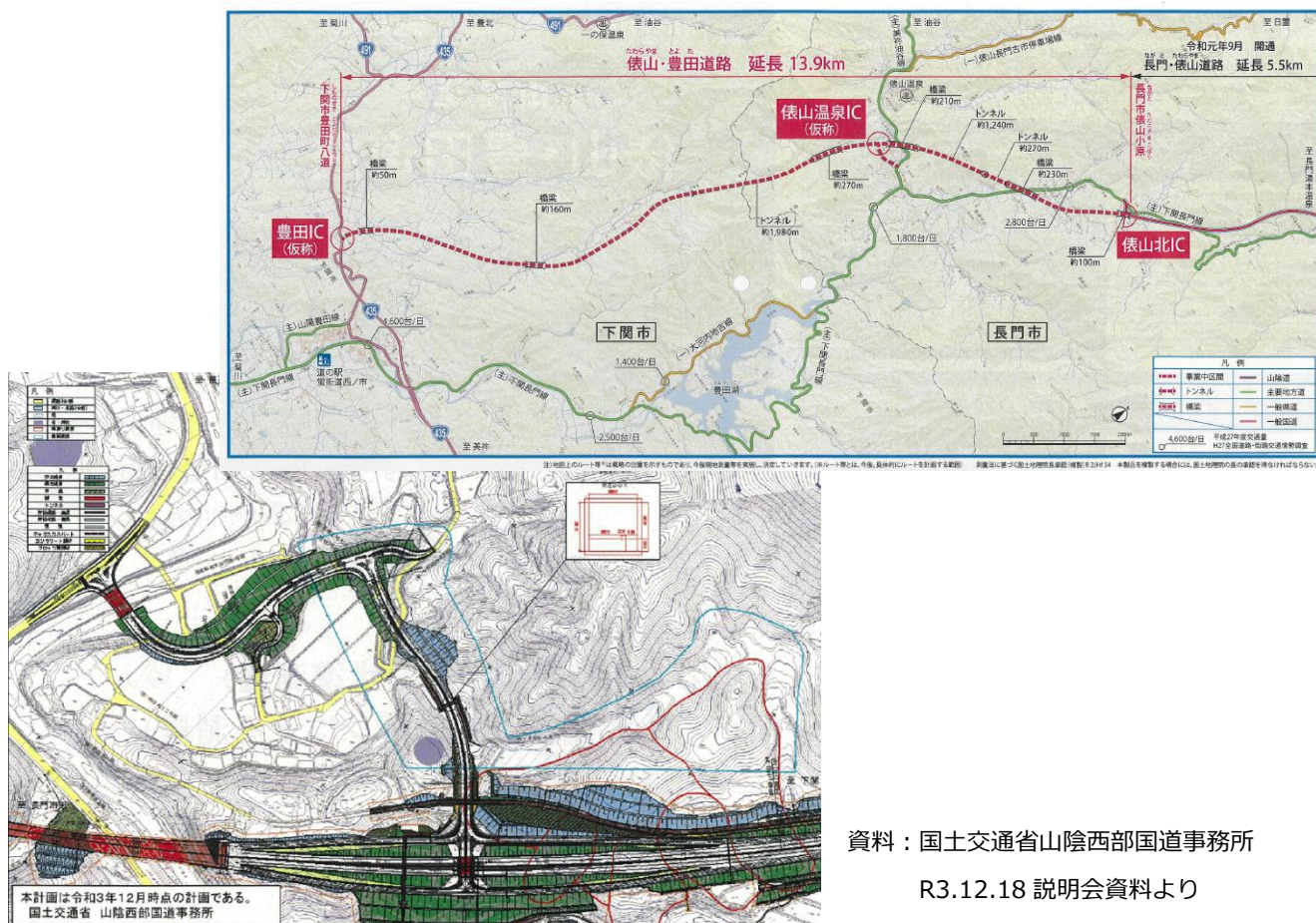
ネット利用場所	8
農業学校	4
住民が働ける場所づくり	3
町の巡回バス	3
体験農園	3
逆に秘境地的な利用	3
3世代が一日過ごせるまちづくり	2
木の住宅・アパート	2
大学・専門学校、ユニークな高校の誘致	2
事業・伝統・文化の継承	2
高齢者施設	2
特産品	2
スポーツ合宿	2
企業団地	2
生産人口（10-30代）が生活しやすいまち	1
地域の産物を利用する・木材で家を建てる	1
事業継承・俵山産物伝授のマッチング	1
体験型施設	1
EV充電	1
食品工場	1
高級コテージ	1
集荷⇄配達	1



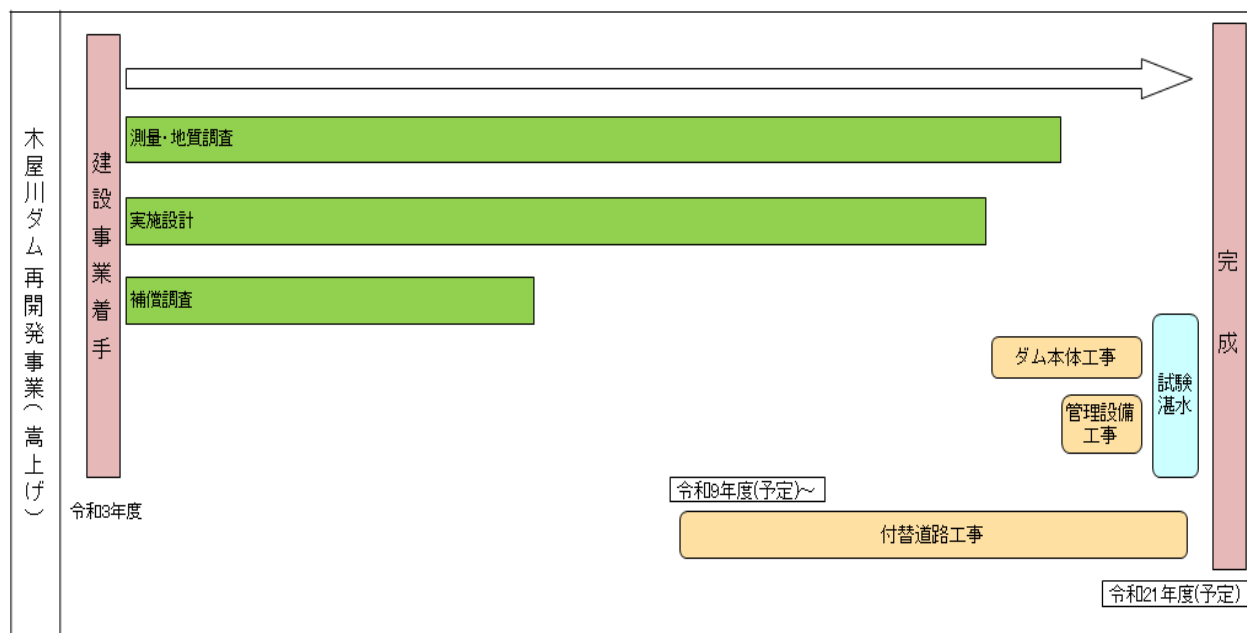
俵山地域の課題と住民意識（小さな拠点に求めるもの）を整理すると以下の通りです。

課 題	住民の意識する小さな拠点に求めるもの
住民生活・サービス環境	・ 買い物の場の確保（スーパー・コンビニなど） ・ ガソリンスタンドの確保 ・ インターネット環境の整備 ・ 上水道などライフラインの確保 ・ 区域内循環バス等の確保 ・ 飲食店の誘致・整備 ・ ATM（現金自動預払機）の整備
居住・住宅環境	・ 若者・子育て世代向け住宅の整備 ・ 高齢者向けアパート・シェアハウスの整備 ・ 貸別荘の整備 ・ 空き家の有効活用 ・ 移住・定住施策の推進
高齢者環境	・ 高齢者向けアパート・シェアハウスの整備（再掲） ・ 高齢者の見守り活動の推進 ・ 高齢者が働く場の確保 ・ 高齢者が生活しやすい場所づくり ・ 交通弱者対策
教育・子育て環境	・ 若者の働く場づくり ・ 子供の教育・遊びの場づくり ・ 若者・子育て世代向け住宅の整備（再掲） ・ 保育施設の充実
観光・産業環境	・ 観光事業の強化 ・ 飲食店の誘致・整備（再掲） ・ 農産物出荷販売施設の整備 ・ 農産物加工施設の整備 ・ 自然を生かした施設の整備 ・ スポーツイベント・アウトドアイベントの開催 ・ 農業体験等の推進 ・ 温泉を活用した事業の実施

(1) 俵山豊田道路（山陰道）の整備



(2) 木屋川ダム再開発事業（高上げ）



「自然」と「湯」が香る癒しのまち 俵山

～新しい交流を生むハブづくり～

俵山地区は山陰道の一部となる俵山豊田道路の整備と木屋川ダム再開発事業（嵩上げ）という大きな2つのプロジェクトが進む、重要な転換期を迎えています。この転機をチャンスととらえ、この2大プロジェクトと連携した取り組みを実施していく必要があります。

俵山温泉インターチェンジ（仮称）は山陰道と主要県道38号美祢油谷線の結束点となることから、今後、重要な拠点となることが想定されます。今回の小さな拠点づくりを通じて、新たな人流、物流の中心的役割を果たす“ハブ”としての機能を構築し、新しい交流を生んでいくことが求められています。

俵山地区は、早い段階から人口減少を見据え、地域住民が中心となって協議会などの団体を設立し、公共施設の指定管理を受けるなど、県内でも有数の地域づくりを実践する地域として成長してきました。こうした素地のある俵山地区において、俵山の人々が脈々と受け継ぎ、地域に根付き大切にしてきた「自然」と「湯（温泉）」の財産を守り、活用しながら、そこに住む人々が癒され、訪れる人々が癒されることにより、次の活力（行動）に繋げていく。そのような持続可能な「まちづくり」の実現を目指し、『「自然」と「湯」が香る癒しのまち 俵山 ～新しい交流を生むハブづくり～』を基本理念に掲げ、小さな拠点づくりを進めていきます。



俵山地区小さな拠点づくりは、基本理念である『「自然」と「湯」が香る癒しのまち 俵山 ～新しい交流を生むハブづくり～』に基づき、次の3つの基本指針を定め、小さな拠点づくりによる地域活力の創出を目指します。

基本理念

「自然」と「湯」が香る癒しのまち 俵山
～新しい交流を生むハブづくり～



基本指針Ⅰ

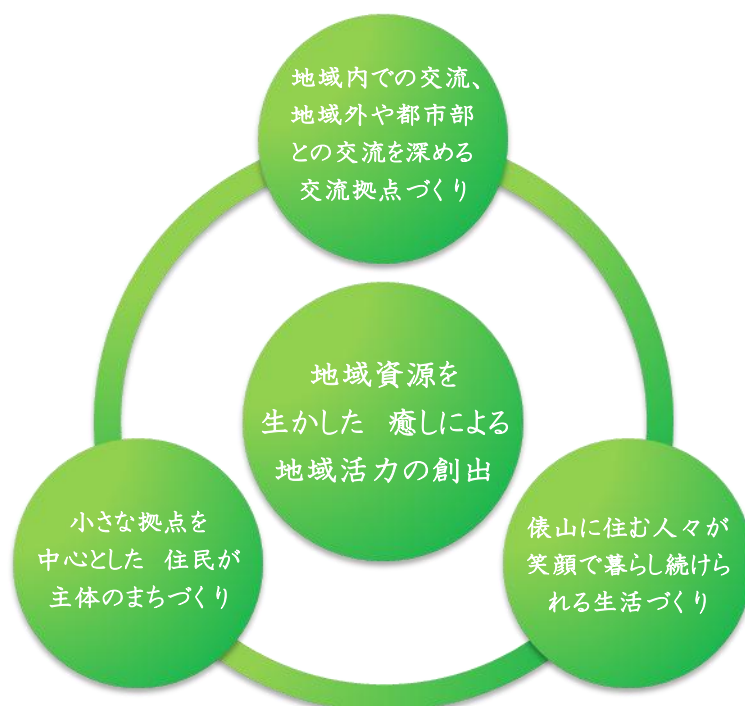
地区内での交流、地区外や都市部との交流を深める交流拠点づくり

基本指針Ⅱ

俵山に住む人々が笑顔で暮らし続けられる生活づくり

基本指針Ⅲ

小さな拠点を中心とした住民が主役のまちづくり



俵山地区小さな拠点づくりにおける3つの基本指針の詳細を次のとおりとし、さらに具体的な体系に取りまとめます。

基本指針Ⅰ	地区内での交流、地区外や都市部との交流を深める 交流拠点づくり
	俵山と地区外・都市部との新しい人流、物流を生む、ハブとしての拠点づくりを目指します。 ・既存施設の改修・更新も行いながら、既存施設集積エリアを含めた拠点づくりを進めます。 ・俵山地区に住む人々の交流を促進するため、既存の機能やサービスの維持、必要な施設の整備、地域内交通のネットワーク強化を図ります。 ・元気で活力ある俵山をつくる要である観光業や農林業の振興に積極的に取り組み、併せて、中核的役割をもった施設を整備することで、地区外や都市部との交流を深めることができ、外貨の獲得と地域内経済の循環を促進します。 ・中核的施設については、直販交流施設の整備を行います。
基本指針Ⅱ	俵山に住む人々が笑顔で暮らし続けられる 生活づくり
	自然を大切にし、自然の恵みを得ながら、住んでいる人も癒される拠点づくりを目指します。 ・俵山地区に住む誰もが自分らしく、住み慣れた地域で健康で安心して暮らし続けられるよう、それぞれの個性や価値観を尊重し合える環境づくりを行うとともに、生活の利便性や行政サービスの充実と防災対策の充実を図ります。 ・若者の定住や移住者に選ばれる地域となるように、必要な対策を進めます。
基本指針Ⅲ	小さな拠点を中心とした住民が主役の まちづくり
	俵山地区の多くの住民がまちづくりに参加し、意見・議論ができる機会を設け、新しい発想が一つずつ事業や課題解決の形となるよう地域・事業者・行政等が力を合わせ、持続可能なまちづくりを目指します。 ・俵山の特性を踏まえながら、住民と行政が力を合わせ小さな拠点づくりを推進し、地域住民が中心となった小さな拠点の運営を図ります。 ・住民が主体的に地域課題に取り組みながら、地域に誇りと愛着を持ち、住み慣れた地域コミュニティの維持を図りながら、祭り等の伝統文化を継承します。 ・6次産業等を推進し、地域資源を生かした商品・サービスによって、地域が稼ぎ、地域に還元できる取組に挑戦します。

<取り組み体系>

「自然」と「湯」が香る癒しのまち 俵山
く新しい交流を生むハブづくりく

基本指針Ⅰ 地区内での交流、地区外や都市部との交流を深める交流拠点づくり

取組方針	住民からの意見
既存の行政施設・サービスの維持を図ります	○高速通信網の整備 ○デマンド交通の充実 ○観光施設の充実 ●行政施設の更新・改修 ●既存施設の有効活用 ●「道の駅」の登録 ●直販設備・飲食店の整備 ●企業・店舗の誘致 ●体験・交流の場づくり ●温泉を利用した施設の整備
地域内の交通ネットワークの充実を図ります	
地区外や都市部からの交流人口の拡大を図ります	
新しい人流、物流を生む仕組みづくりを推進します	
俵山温泉と連携した観光振興を図ります	

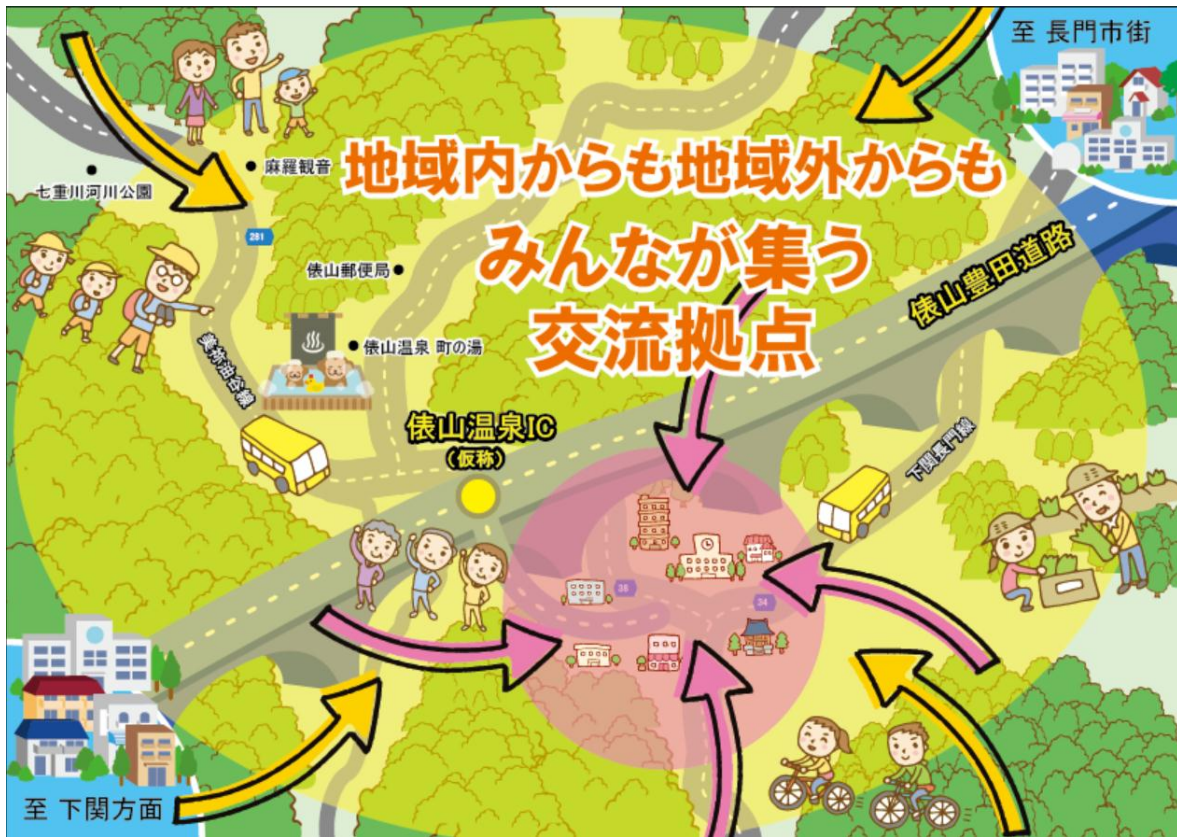
基本指針Ⅱ 俵山に住む人々が笑顔で暮らし続けられる生活づくり

取組方針	住民からの意見
暮らしを支える機能の維持・充実を推進します	○移動販売車の導入 ○空き家の有効活用 ○デマンド交通の充実（再掲） ○防災施設・備蓄の充実 ●食材等が購入できる店舗の整備 ●金融機関等の誘致 ●拠点に必要なインフラの整備 ●ガソリンスタンドの誘致 ●保育施設の充実 ●企業・店舗の誘致（再掲） ●高齢者施設の整備 ●若者関連施設の整備
誰もが安心して生活できる機能や防災対策の充実を図ります	
俵山地域内での雇用の充実を図ります	
拠点外の施設との移動の充実を図ります	
若者の定住、移住者の受け入れに繋がります	

基本指針Ⅲ 小さな拠点を中心とした住民が主役のまちづくり

取組方針	住民からの意見
地域コミュニティを維持してまいります	○地域計画の更新 ○まちづくり協議会の育成・支援 ○地域会社等の地域団体の支援 ○グリーンツーリズム事業の推進 ○特産品の開発支援 ○6次産業の推進 ○祭り・イベントの充実 ○伝統文化の保護・振興 ●山陰道の建設事業との連携 ●木屋川ダム再開発事業との連携
住民が考え実践するまちづくりを推進します	
俵山の自然の恵みを活用した特産・体験の開発を推進します	
伝統文化を継承し、住民が誇れるまちづくりを推進します	
国・県の事業と連携したまちづくりを推進します	

俵山温泉インターチェンジ（仮称）周辺の柿ノ木川エリアと既存の施設が集積するエリアを合わせて、大羽山拠点として位置付けます。



大羽山拠点エリア図



俵山地域における小さな拠点づくりの取組については、次の通りを推進します。

	R 3	R 4	R 5～7	R 8～10	R11～13	R14～16	R17～19	R20～
基本構想	策定							
基本計画		策定 柿ノ木川エリアに新設する施設、既存エリアで更新する施設の決定。時期の決定。概算予算の積算を行う。						
実施設計・事業実施 柿ノ木川エリア			想定期間					
実施設計・事業実施 既存エリア				想定期間				
施設の整備・改修を伴わないソフト事業 実施計画を策定		策定 地域計画と連携したものとする。5 年を目途に見直し。						
俵山豊田道路整備事業	平成 28 年度事業着手 事業完了未定							
木屋川ダム再開 発事業	令和 3 年度建設事業着手 事業完了令和 21 年（予定）							

●基本構想策定の経過

基本構想の策定にあたっては、市にて住民アンケートの実施の後、俵山地区の住民や団体で構成される「俵山地区小さな拠点づくり基本構想策定委員会」において協議し、策定されました。

平成28年 山陰道俵山豊田道路 事業着手



平成28年10月 俵山地域元気生活圏づくり推進方針策定
市の計画に初めて「俵山地区小さな拠点」が記載



平成29年2月 第1回俵山地区「小さな拠点」整備意見交換会
平成29年3月 第2回俵山地区「小さな拠点」整備意見交換会（ワークショップ形式）
平成29年8月 第3回俵山地区「小さな拠点」整備意見交換会（ワークショップ形式）



令和2年10月 俵山地区小さな拠点づくりに関するアンケートの実施
452世帯配布 回収率 63.05%



令和3年9月 俵山地区小さな拠点づくり基本構想策定準備委員会開催
・策定委員の人選 ・今後のスケジュール ・策定方針



令和3年10月 第1回俵山地区小さな拠点づくり基本構想策定委員会
・策定委員の委嘱 ・基本構想策定の骨子 ・今後のスケジュール



令和3年11月 俵山地区小さな拠点づくり基本構想策定に向けたワークショップ
(第1回) 全住民対象ワークショップ 参加者 19名
(第2回) 若者・女性対象ワークショップ 参加者 18名



令和3年12月 第2回俵山地区小さな拠点づくり基本構想策定委員会
・基本構想における基本理念（コンセプト）について



令和4年1月 第3回俵山地区小さな拠点づくり基本構想策定委員会
・基本構想素案について



令和4年3月 第4回俵山地区小さな拠点づくり基本構想策定委員会
・俵山地区小さな拠点づくり基本構想（案）について
・今後の推進体制について

●基本構想策定委員名簿

	団 体	氏 名	備考
1	俵山地区発展促進協議会	藤野 忠次郎	委員長
2	俵山地区発展促進協議会 青年部	中原 英樹	
3	俵山地区自治会連合会	三浦 辰美	副委員長
4	NPO法人ゆうゆうグリーン俵山	村田 保	
5	俵山温泉観光協議会	藤永 義彦	
6	俵山公民館	中原 純二	
7	J A 山口県 俵山支所	中野 貴司	
8	大石・西山地区ダム対策協議会	増野 建治	
9	柿の木川地区 小さな拠点づくり対策協議会	宮原 恒人	
10	俵山どんぐり	池藤 清子	
11	郷土史家	宮野 修治	
12	俵山郵便局	金川 勝之	

(事務局)

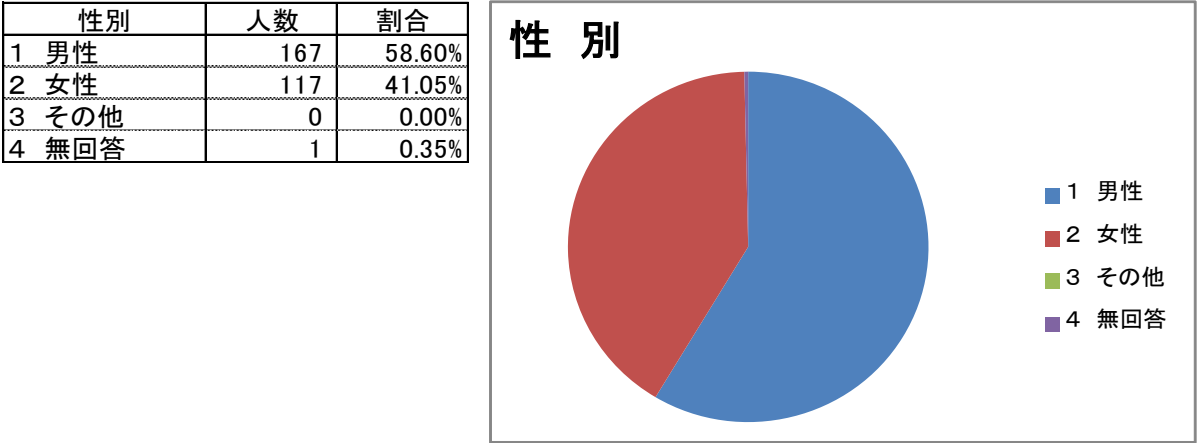
市民生活部市民活動推進課



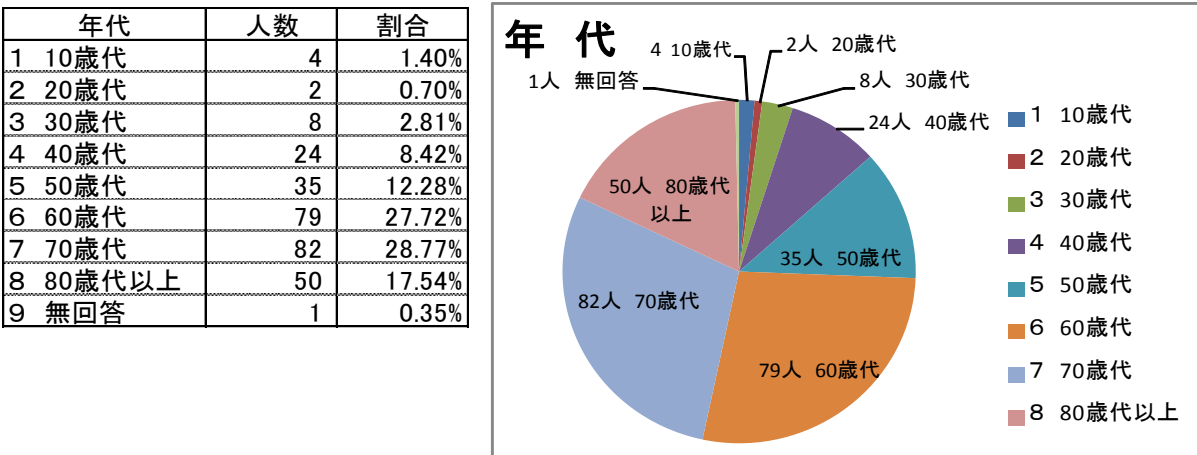
●住民アンケート

令和2年10月末現在世帯数 452世帯 回収率 63.05%

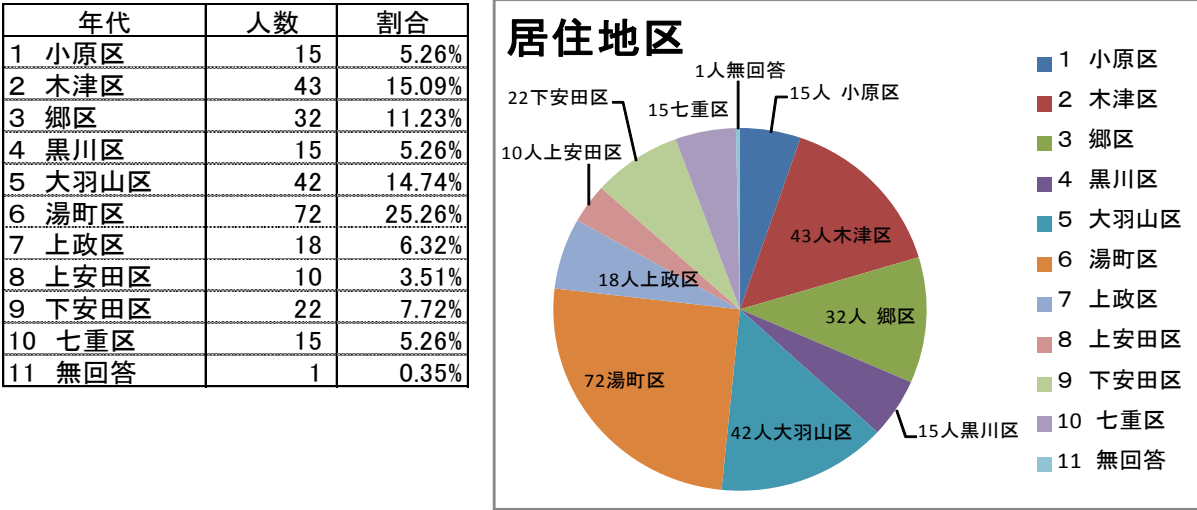
【問1】・・あなたの性別をお答えください。(○は1つ) (N=285)



【問2】・・あなたの年代をお答えください。(○は1つ) (N=285)



【問3】・・・住まれている地区をお答えください。(○は1つ) (N=285)



【問4】・地区内の既存施設を有効活用するためのアイデアや希望があればお答えください。

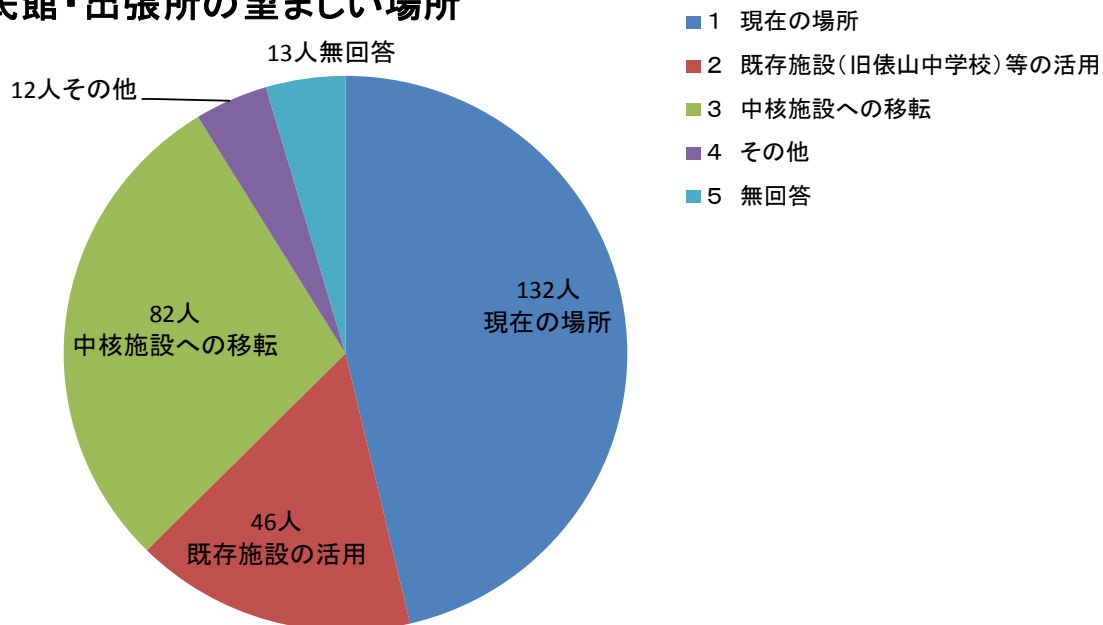
- ・ラグビー場(サッカー含む)と温泉を世界的にアピールし最大限に有効活用し、観光客の収容をはかる(屋外イベント3万人収容等)。
- ・里山ステーション等で高齢者の昼食会等(食事は弁当)。週1回程度で良い。デマンド交通の車の巡回運行を行う。
- ・中核施設の場所、内容によりますが、公民館周辺は立地条件がよいと思うので、旧俵山中を活用できれば、した方がよいと思います。
- ・区民館の利用。
- ・里山ステーションの駐車場をきれいに。川べりの風景が良いので、川辺に下りた辺りにカフェがあるといいですね。
- ・旧中学校の農園を有効活用。
- ・地区内の既存施設は老朽化が激しいので使えないものが多いように思う。
- ・ラグビー場で農産物(ジビエ)等の販売所設置。
- ・市政から見れば出張所だけでいい。
- ・旧俵山中学校にてパソコン教室、他習い事、俵山歴史博物館(映画館)なども一つの案です。
- ・旧清山荘の利活用は、一考すべきと思う。個人資産ではあるが、地域会社を通じて考える事ができるのでは。
- ・修学旅行や民泊の宿泊又は体験学習、習い事などの場に使う。
- ・俵山の卓球大会には多くの参加者が集まるが、日頃は誰も楽しむ者はない。二人集まれば簡単に遊べるスポーツなので、空施設に無料で自由に使える卓球台があればいい。
- ・耐震・防災の問題がなければ小・中学校の建物(体育館・給食厨房含む)の既存設備の活用は現建物区画での利用がベターと考えます。(小学校と中学校の建物は同一区画利用として考える)小学校の存続利用、中学校への幼児園、公民館・図書館へ移動を提案する。
- ・老若男女が集えるよう中核に集中して設置する。
- ・中途半端に既存施設を活用するよりは、今後増々老朽化する既存施設は撤去する方がよいと考えます。
- ・温泉水を販売所として利用できればと思います。
- ・映画、音楽会、芝居等が出来る文化施設をぜひつくて ・水泳、テニス、ボーリング場等のスポーツ施設。
- ・俵中は耐震強度がないので利用が難しい。
- ・空き旅館の活用。
- ・役所や病院、スーパー等、生活するという上で不可欠な施設を1ヶ所に集めるモール型のスペース(そこに行けば全てが揃う)ができるとよいと思います。
- ・介護施設が出来たらいいなと思います。
- ・コンビニやデパート希望 ローソン&ファミマ。
- ・コンビニやスーパー(丸和)を希望。
- ・湯町区民館を作らないのですか？
- ・俵山全体が活性化してほしい。
- ・リモートワークの場所として活用しては？Wi-Fi等の環境整備も併せ！
- ・俵山中学校の教室の1部に、野菜の直売や簡単な買い物ができ、来たついでに休憩ができる場所。
- ・インターネット(高速回線)の早期整備。(空施設、既存施設を企業へ誘致、起業しやすい場へ)
- ・耐震化を進められれば、災害時等の避難所として、又、日常的には交流施設に。
- ・中学校・公民館とも老朽化を考えると、解体・新拠点地への転用を考える。
- ・小学校が新しいので地震や台風災害に備え、空きスペースがあれば避難所にする。大災害の予測される場合は事前に避難出来るように体育館も含め出来るようにする。
- ・イベント等をしたらいいかも。
- ・デマンド交通の充実。
- ・有効活用はすると良いがいつでも古い。(老朽化と耐震性の問題)
- ・現在休業されている清山荘を復活できないか、その為には泉源を借り受け出来ないか、検討しては如何か提案する。
- ・古いものも大切にしながら、ワークショップ的にみんなでリノベーションする。密集を避け、各集会所でZoom等でつないで同じワークショップをする。
- ・全体的に駐車スペースが無い、狭いため、パーキングエリアを作ると良い。

【問5】・・・公民館・出張所の望ましい場所についてお答えください。(○は1つ)

(N=285)

場 所	人数	割合
1 現在の場所	132	46.32%
2 既存施設(旧俵山中学校)等の活用	46	16.14%
3 中核施設への移転	82	28.77%
4 その他	12	4.21%
5 無回答	13	4.56%

公民館・出張所の望ましい場所



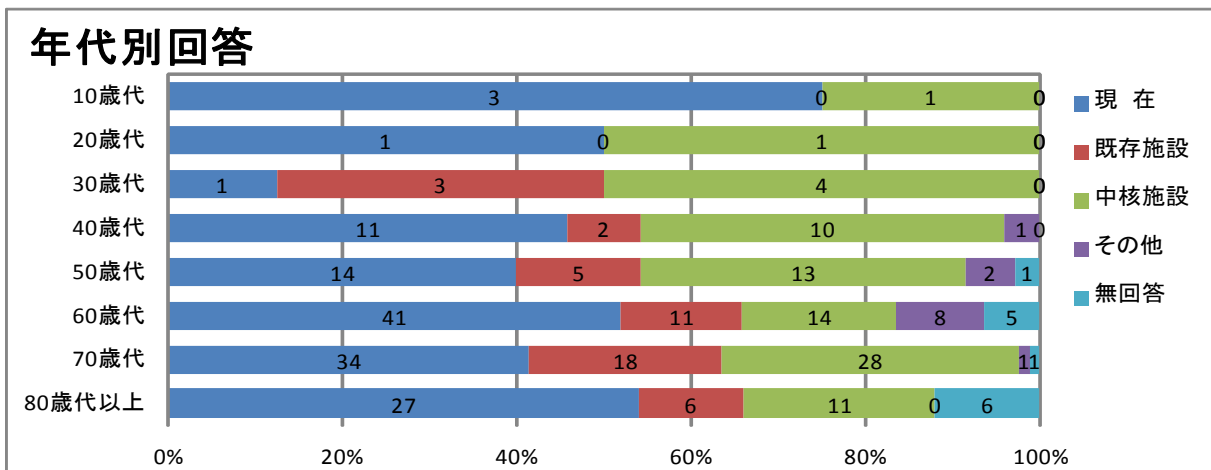
【問5】・・・その他の意見

- ・ラグビー場の辺り
- ・わかりません
- ・俵山小に併設
- ・どちらでも。駐車スペース確保できる場所(中学校でも)
- ・出張所だけでいい
- ・旧俵中をくずして、そこに公民館と出張所を新しく建設する。
- ・旧中学校を解体して建築
- ・旧俵山中学校を解体して跡地に新設(耐震性がないため避難所として使えない。また、体育館が近く利便性が良いので)
- ・JA
- ・中核施設の場所次第
- ・よくわかりません

【問5 考察】年代別の回答

(N=284)

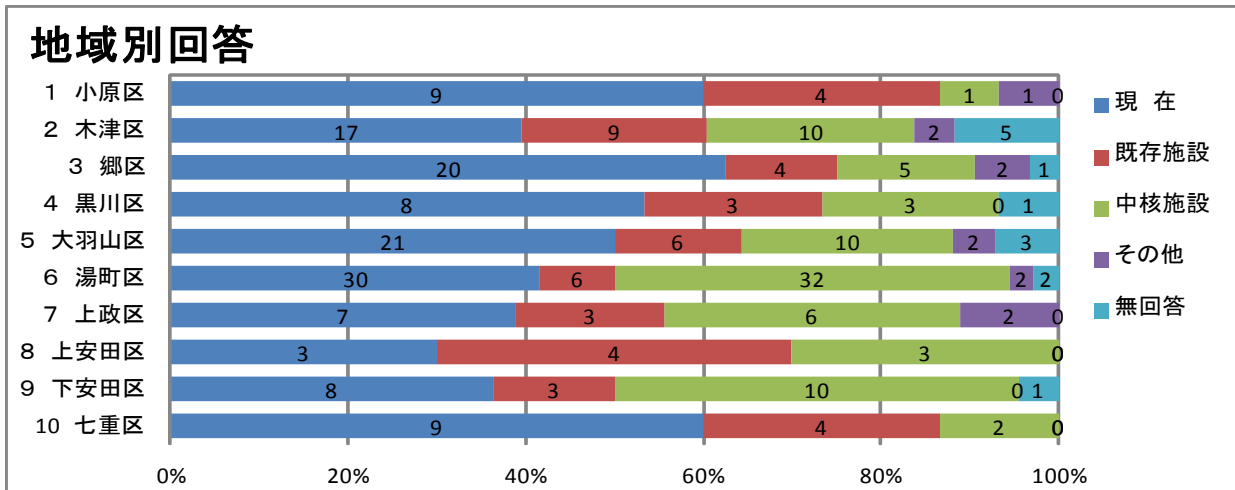
	現 在	既存施設	中核施設	その他	無回答	計
10歳代	3	0	1	0	0	4
20歳代	1	0	1	0	0	2
30歳代	1	3	4	0	0	8
40歳代	11	2	10	1	0	24
50歳代	14	5	13	2	1	35
60歳代	41	11	14	8	5	79
70歳代	34	18	28	1	1	82
80歳代以上	27	6	11	0	6	50



【問5 考察】地域別の回答

(N=284)

	現 在	既存施設	中核施設	その他	無回答	計
1 小原区	9	4	1	1	0	15
2 木津区	17	9	10	2	5	43
3 郷区	20	4	5	2	1	32
4 黒川区	8	3	3	0	1	15
5 大羽山区	21	6	10	2	3	42
6 湯町区	30	6	32	2	2	72
7 上政区	7	3	6	2	0	18
8 上安田区	3	4	3	0	0	10
9 下安田区	8	3	10	0	1	22
10 七重区	9	4	2	0	0	15

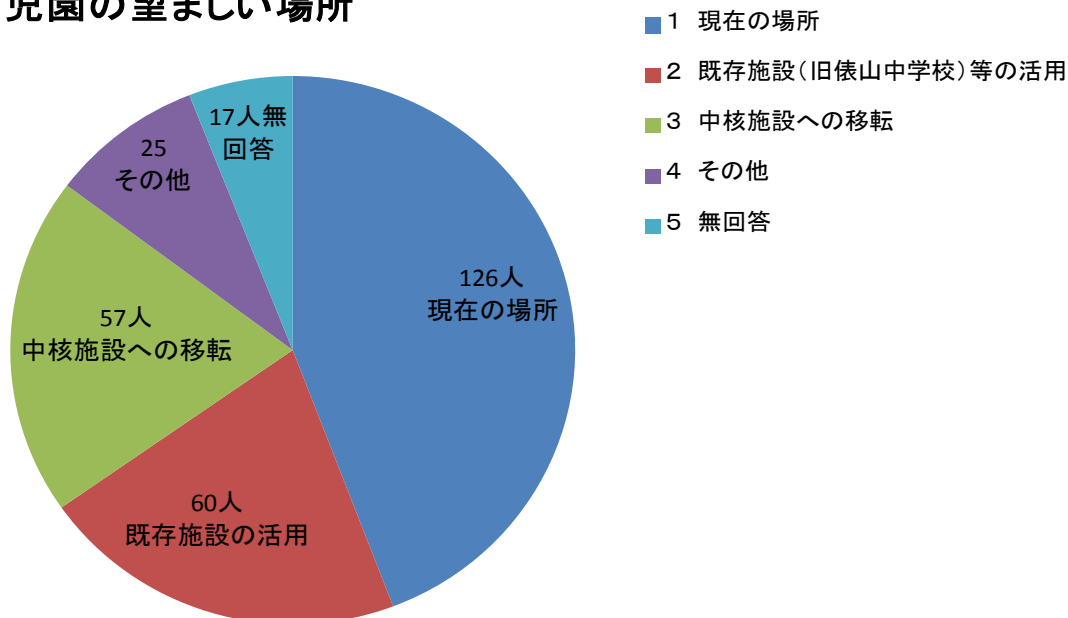


【問6】・・俵山幼稚園の望ましい場所についてお答えください。(○は1つ)

(N=285)

場 所	人数	割合
1 現在の場所	126	44.21%
2 既存施設(旧俵山中学校)等の活用	60	21.05%
3 中核施設への移転	57	20.00%
4 その他	25	8.77%
5 無回答	17	5.96%

俵山幼稚園の望ましい場所



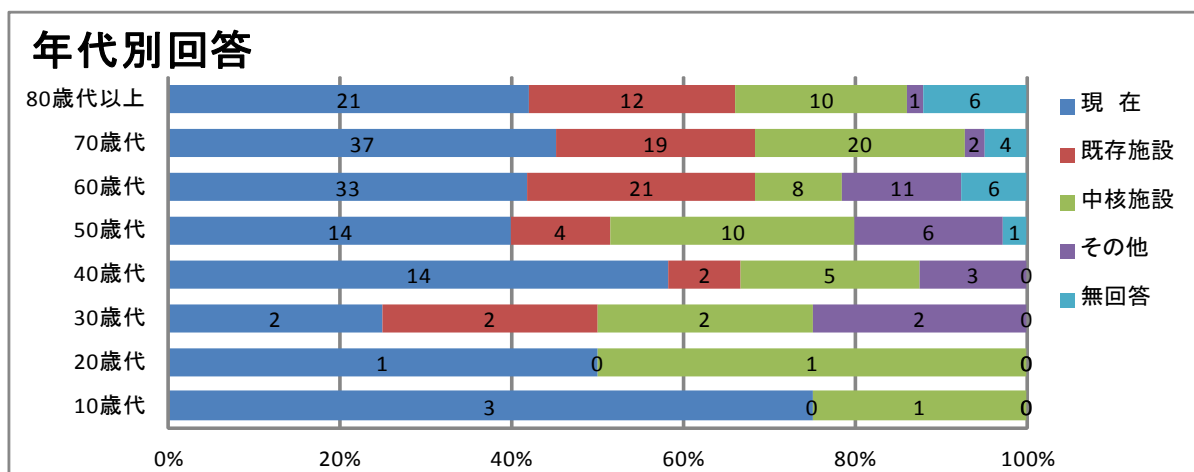
【問6】・・その他の意見

- ・ 俵山小併設
- ・ わかりません
- ・ 俵山小に併設
- ・ 俵山小学校
- ・ どちらでも。駐車スペース確保できる場所(中学校でも)
- ・ 小学校の校舎内に
- ・ 里山ステーションそば
- ・ 小学校、公民館と近い距離
- ・ 俵中のあとに小学校と隣接させる
- ・ 旧中学校を解体して建築
- ・ 小学校と併設で設置
- ・ 小学校と併設
- ・ 俵小の1階
- ・ 建て替えるのなら、中核施設へ移転。現在のロケーションはすばらしいけれど。
- ・ 小学校舎での教育環境(合同教育)
- ・ 小学校との共存、グラウンドもある。
- ・ 俵山小学校施設内
- ・ 中核施設の場所次第
- ・ 小学校との併用
- ・ よくわかりません
- ・ 小学校内に移転し、連続した子ども育てができればいい。
- ・ 俵山小学校内
- ・ 俵山小学校
- ・ 小学校の空スペース

【問6 考察】・・年代別の回答

(N=284)

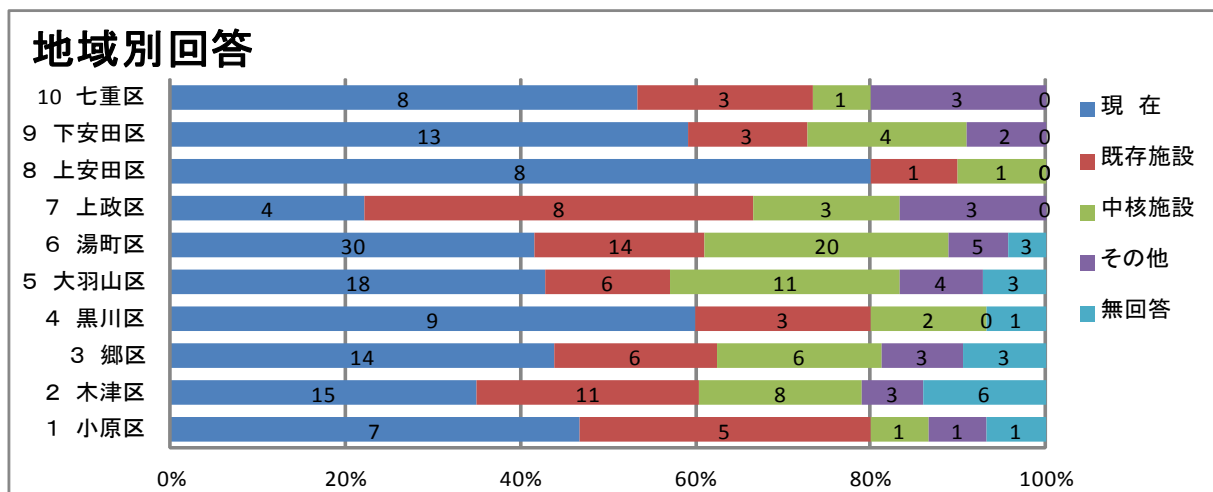
	現 在	既存施設	中核施設	その他	無回答	計
10歳代	3	0	1	0	0	4
20歳代	1	0	1	0	0	2
30歳代	2	2	2	2	0	8
40歳代	14	2	5	3	0	24
50歳代	14	4	10	6	1	35
60歳代	33	21	8	11	6	79
70歳代	37	19	20	2	4	82
80歳代以上	21	12	10	1	6	50



【問6考察】・・地域別の回答

(N=284)

	現 在	既存施設	中核施設	その他	無回答	計
1 小原区	7	5	1	1	1	15
2 木津区	15	11	8	3	6	43
3 郷区	14	6	6	3	3	32
4 黒川区	9	3	2	0	1	15
5 大羽山区	18	6	11	4	3	42
6 湯町区	30	14	20	5	3	72
7 上政区	4	8	3	3	0	18
8 上安田区	8	1	1	0	0	10
9 下安田区	13	3	4	2	0	22
10 七重区	8	3	1	3	0	15



【問7】・・小さな拠点（中核施設）に欲しい機能（施設）をお答えください。

(N=269)

機能(施設)名	回答数	割合
1.観光案内所	60	22.30%
2.農産物(ジビエなど)加工販売所	83	30.86%
3.パン工房	37	13.75%
4.農産物集出荷施設	77	28.62%
5.コンビニエンスストア	136	50.56%
6.足湯	16	5.95%
7.地場産品を使った食堂	87	32.34%
8.温泉水販売所	11	4.09%
9.高齢者向けアパート	29	10.78%
10.ATM(現金自動預払機)	76	28.25%
11.ガソリンスタンド	71	26.39%
12.その他	17	6.32%

(M.T=260.2)

【問7】・・その他の意見

- ・ 高速道を活用した、複合型道の駅
- ・ 道の駅
- ・ 白米精米所。道の駅。
- ・ スーパーマーケット、ホームセンター
- ・ 日帰り温泉、農産物+地場商品特産物販売
- ・ コインランドリー、コスモス（ドラッグストア）
- ・ 温泉
- ・ スーパーマーケットSMタイプ
- ・ 交差点近くに素敵な公衆トイレ
- ・ 小さな道の駅
- ・ 市営住宅（若者住宅）
- ・ 各種イベントコーナーの看板
- ・ 11.と同類で書くこともないと思うがEVスタンド
- ・ 温泉に入り体操したり運動出来る体力作り、健康ランド的な施設
- ・ コインランドリー
- ・ 喫茶店
- ・ コインランドリー

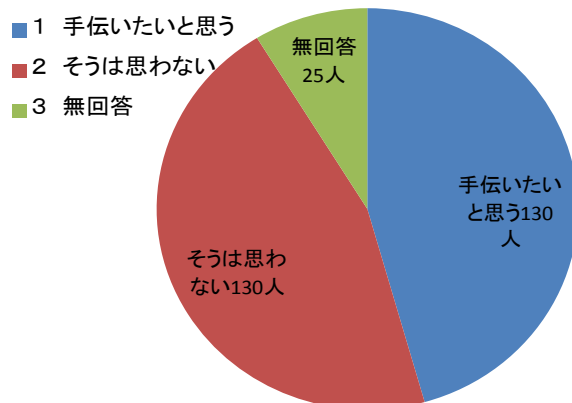
【問8】・・小さな拠点（中核施設）は、地域で運営していくことが重要になります。

あなたは、こうした地域運営を手伝いたいと思いますか。（○は1つ）

(N=285)

	回答数	割合
1 手伝いたいと思う	130	45.61%
2 そうは思わない	130	45.61%
3 無回答	25	8.77%

運営協力について



【問9】・・俵山地区のまちづくりについて、ご意見があればお答えください。

(Part1)

- ・ 俵山温泉のそばに駐車場があるといいです。
- ・ 近年の地方の田舎暮らしの見直されてきたのがよい。俵山という地名も恵まれたもので、今後大いにPRしてネットを使い、より発展して欲しい。俵の山自動車道のお陰で益々発展してゆける。
- ・ 郵便局など利用しやすい場所にあると助かります。（コミュニティバスを利用しても、おおむね、1ヶ所にあると動きやすい）
- ・ 湯治イメージの俵山温泉に観光に少しシフトした対策をすべき（例えば、大分県の筋湯温泉が参考になると思います）。道路インフラの早急な完成（俵山から下関小月までの山陰道）。
- ・ ラグビー場（サッカー含む）と温泉を世界的にアピールし最大限に有効活用し、観光客の収容をはかる（屋外イベント3万人収容等）。
- ・ 小さな拠点（中核施設）是非作って下さい。
- ・ 橋等が昔のままで狭い。もっと広くし、大きい車が入れるようにしてほしい。
- ・ 俵山といえば温泉です。もっと温泉客を呼び込む施策を考えないと、いくら立派な施設が出来ても俵山は寂れるばかりになると思います。
- ・ 俵山の自然を生かした観光施設、例えば、オートキャンプ場、天文観測（星空を見る）、温泉施設等への車でのアクセスの改善が必要だと思います。
- ・ 温泉街の活性化のため、街中に小さな美術館など温泉とは別の人を集める場が必要。農家の空き家を利用して定住者を俵山に定着させる。
- ・ 問7で4,9,11に○をしていますが、1～11をまとめた（それ以外も含めた）考え方もどうでしょうか。
- ・ 子ども達が就職するときに俵山で暮らすことを選択したくなるようなまちであってほしいです。
- ・ 公民館を移転するのであれば、俵山小に併設し、俵山小の図書館、コンピュータールーム、調理室、音楽室と地域の人も活用できるようにするとよい。そのコーディネートは公民館が行う。
- ・ 一位ヶ岳に車で登れて、頂上に公園を作ってはどうか。観光誘致につながると思う。俵山の景観を活用すべきだ。
- ・ 高齢者や車椅子の使用するなどの身障弱者にやさしい歩道（登り下りのない散歩ロード）を作ってはどうか。家にとじこまないようにするために必要と思う。
- ・ 若者は、皆出て行く。将来は高齢者の住み良い町にしたらどうか。
- ・ 電動バイク、歩行器、車椅子、つえを使用している人や家に閉じこもりの人などの統計を取ってみてはどうか。それから、町作りの方向性を考えても良いと思う。
- ・ 農産物の数を増やす。
- ・ いで湯の里、山里としての地区のデザインが総合的に統一されると景観も落ち着くかと思います。
- ・ 若い人が住めるような方法を考えるが、なかなか思いつかない。
- ・ 駐車場をもっと増やす。（温泉、旅館のお客様の為に）
- ・ 特に観光地の拠点として湯町地区の整備が望ましい。
- ・ 精米所を新設してほしい。道の駅、誰もが出店できるような店に。（県道沿いがよい）
- ・ 何年先になるかわかりませんが、その頃には、自分達はいないかも。若い人にアンケートをしてもらったら。
- ・ 今後、多目的広場を利用される方々が立ち寄れることも考慮し、買い物ができるスーパーマーケット、コンビニ等あれば良いと思い、コミュニティバスを活用するのであれば車を持たない高齢者も遠方へ行かなくてもよくなる。必然と必要な施設が見えてくると思います。
- ・ 買い物ができるスーパーがあると良いと思う。
- ・ 昔ながらの自然を活かしつつ、住みやすいまちづくりに期待しています。
- ・ 俵山地区の団結力は他地域にはないものがあると思います。これから育ていく子ども達が誇れる地元づくりが出来れば良いなと思います。
- ・ 中核施設へは地域産業活性化の観点を重視と思う。出張所、公民館へは現在の場所を中心に考えた方が良いのでは。高齢者がバス停等から近い距離、高台へ動く事は良く考えないといけないのでは。
- ・ いろいろな施設が一ヶ所にあると便利だが、どこに中核施設を作るかが問題だと思う。
- ・ 若者が地域に残れる様大きな企業考え、子供ふやす事かな？

【問9】・・俵山地区のまちづくりについて、ご意見があればお答えください。

(Part2)

- ・ 移住者（若い人）の人材確保？この地に永住したい人材を確保する為には、魅力ある環境を増やさなければと思っていますが、昨今、農業に興味のある人々が増えているような気がします。
- ・ インターチェンジが開通すれば、他県等の自動車、観光客が増加するであろうが、俵山地区の売りである俵山温泉へのアクセス道路が貧弱である。インターから温泉に幅広い直線的な道路が必要かと思う。例えば、すぐ温泉街が視界に入る熊野公園を横断するような道路。また、温泉を中心に山間部を生かした公園、例えば、大寧寺公園のようなもみじ等大木で手入れの容易な公園を設置したらどうかと思う。俵山温泉の特色を作らねばだめだと思う。
- ・ ①中核施設は山陰道進入路と計画化が予定され、地域行政区・学校区に近いという点、又、敷地面積がある程度取れると予測される「現清山荘」を中心とした区画が合理性利便性の面からも最適だと考える。施設の中身は、道の駅を手本として、・ジビエ他地場特産物・生産物の販売地域特産物の販売機能としての施設の核とする。（各所の100円市の集合化また簡単なコンビニエンス機能も併設）・日帰温泉・飲食施設を付設し施設の核とする。（良泉の清山荘の源泉の有効活用を進め温泉及び温泉関連施設を併設する）・俵山観光の案内・出発拠点としての核とする。この三つの機能を核として考え中核施設を検討すべきである。②俵山温泉街について ①の日帰温泉の意見について異論があると思うが、日田の町並みを手本に現湯町を「昭和の町並み」をコンセプトに温泉街の見直し変革を考えていく。・旅館街の休業廃業家屋等をテナント誘致で埋めていく。（別添休業・廃業マップ参照）・熊野山公園、頭振川河川公園（スパスタジアム）、の再整備・清掃と七段の滝、麻羅観音の関連整備を進め、レンタサイクル等の利用で回遊・散歩を考える。（現在の熊野山公園、頭振川河川公園はメンテナンスの不備が目立つ。）①の中核施設と②の温泉街を結ぶ区画を相互のステーションとして遊歩道、サイクル道として山陰道アクセス道路と同時に並行して整備を要請していく。（サイクルは相互の基地で乗り捨て可能とする）俵山NPO、発展協の事務局を施設内に集合することも考えていく。③能満寺について 能満寺は山口県きっての名刹で宝であることを再認識する必要があり俵山区民が率先して護寺することが必要であると考え。施設環境の改善（観光バスの侵入道路・観光バスの駐車場の設置等）また宝物殿等の寺院の整備等、源資の問題その他の課題をいかに解決するかを考えることが必要である。 俵山の山陰道の計画についての中核施設づくりは俵山地区の将来の地域のシンボルとなるべく又、従来の温泉街中心の形態を前向きに変化させる考えと平行して進むことが必要と考える。前にも記したが、従来の経緯からみても俵山温泉街の改革、発展は温泉関係者だけでは困難である。 中核施設の問題を通じて課題である「住み交通弱者への対応がもっとすすんでいくとよいと思います。（買い物、通院など）
- ・ 自分の所からの道路の舗装があるとよい
- ・ 1. 俵山はやはり温泉をもっと魅力有るものにしないと発展は望めないと思います。2. 何故「小さな拠点」なのか良く理解出来ていません。大規模な施設か公共施設の誘致は考える余地は有りませんか？
- ・ 小さな拠点づくりの情報が少ないので、どのように、だれが、いつ進められるのかがわからない。目的を具体化してそれを含めて、情報を共有できるようにしてほしい。
- ・ 俵山住民重視の拠点にしてもらいたい。例、スーパーでは、電話注文での配達する。
- ・ 地域の重荷になりたくない。また、押しつけはしないよう、お気持ちは有難く存じます。
- ・ ラグビー場周辺の公園をもう少し大きい規模にして人が遊びに来るようにしたら良いと思います。清掃員も居てくれると利用しやすい。（イメージ的にはルネッサの公園）
- ・ 事務局の皆様、ご苦労様です。俵山地区の歴史や風土の資料館みたいなのを併設したら良いと思う。（使わなくなった農具なども）
- ・ 手伝いたいと思うばかり（高齢の為）です。
- ・ 買い物に大変困っています。郵便局を県道沿いに移転して下さい。道の駅俵山を作して下さい。
- ・ 田んぼ、山など自然をこわさない。道路をむやみにつくらない。山の手入れをする（自然木を植え、動物のえさをふやす）・山里らしく自然豊かな里を！
- ・ 自動車の運転免許を返納した方の生活が不便にならないような環境作りを望みます。若い夫婦が俵山の幼稚園、小学校に通わせたいと思えるようなまちづくりをして欲しいです。

【問9】・・ 俵山地区のまちづくりについて、ご意見があればお答えください。

(Part3)

- ・ 温泉の充実
- ・ 地域づくりに参画したいとは常に思っているが、地元を離れての勤務であり、現実的に難しい現状である。
- ・ 温泉を軸とした観光エリアの整備、「観・食・買」←強みを生かした戦略が必要
- ・ 温泉の活用を考えて欲しい。
- ・ 観光地として発展してほしい。
- ・ 俵山にたくさんの人が来てほしい。子どもの遊び場がほしい。
- ・ 俵山の未来発展の為にすばらしい事と思いますので、1日でも早く実現する事を願います。
- ・ 食べ物屋ばかりできているが、生活していく上で生活必需品(衣類や消耗品)が十分にそろう店があればいい。
- ・ 俵山地区の人口を増やさないと俵山地区はなくなります。
- ・ 高齢していく中、車の運転も出来なくなり、コミュニティバス数増やしてほしい。長門市方面にも。
- ・ 将来俵山地区の人口が500~300人が予測されます。移住者の受け入れや態勢を整備する事が望ましい。
- ・ 俵山地区は俵山温泉の現在の不況がすべて地区に影響していると思うので。
- ・ 高齢者が買い物に不便でバスの本数も少なく困ってます。
- ・ 若い世代が増えないと、10~30年後が大変だろうと感じてます。他県で行っているような、子育て世代に格安で土地販売したり、住宅を貸すなど(条件付きで)俵山を気に入る30代は多いです。他地域から離れてるのを利用して有機農業に特化してみてもいい？例えば耶馬溪のように。産直の道の駅。コンパクトながらによいのは内日。野菜、米、花、おいしいお弁当。すべて俵山にもあります。土・日限定に太巻き販売もよいのでは。
- ・ 過疎化を食い止めるためにも、市営もしくは県営の子育て世代向け住宅(アパート)を建てる(伊上にあります)。もしくは、空き農地や山林の地目変更を緩和し、インター付近に宅地を整備して、若い世代に移住してもらえそうな環境作りも必要ではないでしょうか。
- ・ いつ出来ますか？
- ・ 早く作って下さい。
- ・ 早急に完成してもらわないと生きていません。
- ・ 道路完成まで生きているでしょうか？
- ・ 高齢者が多く、若者が少ない為、外部から人を呼び込まないと俵山はさびれる可能性大である。
- ・ 各分野毎(農業分野、商業分野、観光分野など)の課題を共有化し、皆で解決していく組織づくりが必要。(俵山人口減の中、協力体制が必要)
- ・ 温泉と連携して県増進を含む高齢者の居場所づくりなど地区住民が安心して暮らせるまちづくりの取り組みができれば。
- ・ 近くにある故郷(田舎)の楽しい温かいイメージをもっとアピールしていければ良いと思う。
- ・ 問5,6で2. 既存施設等の活用、但し、総合的に使用が可能かどうかの点検を受けてほしい。
- ・ RVパークを作ってはいかがでしょうか。車中泊スポットやキャンプ場など。
- ・ 高齢者が年々増える為、余り移動せず用が済むのが良いと思う。幼稚園、小学校、同じ場所で地域の人達に見守られ少ない子等をのびのび育てられれば良いと思う。
- ・ せっかく良い温泉があるので、温泉を基に中核施設が湯町とは別に新しいコミュニティが出来れば良い。都市との交流が出来ることも大事。農園として貸したりする。情報発信の場所もあったら良いし、それには俵山のことがよくわかる人材育成活力ある人材が必要と思う。
- ・ 森林公園があると良い
- ・ 旧清山荘の泉源は生かして、温泉のある小さな拠点にして頂きたい。
- ・ 俵山ブランド産品を直接加工販売する第6次産業化の拠点とする。山陰道からと地元からと利用できる施設形態として利用者増を外部・地元両面から取り組むことを考えてはどうか。
- ・ インターネット環境を整備し、廃旅館を芸術家のアトリエ、リモートワークのオフィスなどに活用する。(シェアハウスのように)
- ・ 買い物にバスの時間少ないのでデマンドバスが良い。
- ・ 施設が少ない上、人口が減少している中、UターンやIターンを増やすしかないと思う。先駆けて、インターネット環境が脆弱すぎる。今日、光回線がないことはWi-Fi環境もまともに整備できないため、今後の事を考えると必須と思う。
- ・ いずれ車の運転が出来なくなるので、タクシーがあるといいです。
- ・ 温泉の質の良い俵山温泉の活用と施設。

1. 実施日時、場所、対象者

俵山公民館

2回目：令和3年11月23日（火）14:00～16:00

俵山公民館

俵山地区にお住いの女性、中学生、高校生、40代以下の方

ワークショップ形式で2回実施した。

(1) 呼びかけチラシ



(2) 進め方

概要：事業概要について説明したあと、小さな拠点づくりの基本理念と取組の3本柱（交流拠点づくり・成果づくり・まちづくり）について少人数で意見交換し、

考えをまとめ、全体で共有、意見の重みづけをする。

場づくり：グループ（机2台にイス5脚。グループ数は参加者により調整。自由席）

準備物：付箋（正方形2色×7冊）、プロッキー（水性マジックペン・濃い色人数分）、模造紙（10枚）、A3用紙（50枚）。

ホワイトボードまたは黒板、掲示板またはホワイトボードなど（A4用紙を20枚程度、掲示できる広さ）、時計（みんなから見える位置に）、マイク、プロジェクター

タイムスケジュール：

11/18	11/23	所要	タイトル	内容	担当
18:30	13:30	0:30	受付		
19:00	14:00	0:02	開会宣言		市
19:02	14:02	0:05	はじめのあいさつ	会長（副会長）	地域
19:07	14:07	0:03	進行役紹介	講師の紹介	市
19:10	14:10	0:30	概要説明	- 今日の目的 - 小さな拠点の考え方や設置場所について - これまでの経緯 - 今日話してほしいこと（基本理念と3本柱について） - 今後のスケジュール	市
19:40	14:40	0:10	休憩		
19:50	14:50	0:30	グループワーク 基本理念と取組の3本柱について検討	この小さな拠点が、地域住民の思いを大切にして設計、計画され、地域住民の知恵と力で、地域の安心できるくらしのために運営されるために大事なことを話す。	講師
20:20	15:20	0:15	個人ワーク 私の「小さな拠点」でしてみたいこと：	小さな拠点が出来たとき、私がしたいことがあるとしたら、それは何か？について付箋に書き共有する	講師
20:35	15:35	0:10	共感シール投票	・アイデア、考えの重みづけを行い、優先順位を考えるヒントにする。	講師
20:45	15:45	0:10	結果の共有	・結果の振り返り	
20:55	15:55	0:05	終わりのあいさつ		市
21:00	16:00				

3. 資料

(1) 進行用パワーポイント

俵山住民による 小さな拠点づくり ワークショップ

1

今日の進め方

- はじめのあいさつ
- 進行役あいさつ～進め方説明
- 概要説明
～休憩～
- 検討1：基本理念について検討
- 検討2：取り組みの3本柱について検討
- 結果の共有
- その他：これから「私がしたいこと」
- おわりのあいさつ

2

1

基本理念

- ・〇基本理念、コンセプトの決定、目指す姿（将来像）
- ・ 持続可能 地域 共生 交流人口拡大 など

取り組みの3本柱

・ 交流拠点づくり

山販施設などの整備による交流の拡大
温泉を利用した交流の拡大
出張所、公民館の整備、介護施設等の整備による拠点づくり
既存施設の活用と整理

・ まちづくり

特産品開発による地域の活性化
地域団体の育成・支援
移住・定住者の確保 など

・ 生活づくり

買い物やガソリンスタンドなどの生活するうえで必要なもの
水道などのライフラインの整備
交通体系の整備

3

自分でどう活かすか考える
地元のことは地元で、という気持ちをもって
地域のために by 藤野会長

基本理念

どう活かす？
それによって
どんな地域に

2生活づくり

あったほうがいい
必要なもの
入れるべき事業

1 交流拠点づくり 3まちづくり

あったほうがいい
必要なもの
入れるべき事業

あったほうがいい
必要なもの
入れるべき事業

4

2

この場所で
私がしてみたいこと

•ひとつかふたつ
(一枚か二枚)

•A3用紙に貼る



5

基本理念



2生活づくり



1 交流拠点づくり

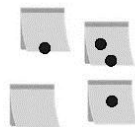


3まちづくり



共感する意見に
シールで
投票しましょう

私がしてみたいこと



6

3

(2) 当日の様子 (写真)

①1 回目 (11/18 参加者 19 名)



②2 回目 (11/23 参加者 18 名)



(3) 意見

- ・テーマ別意見はP 6～P 8に記載
- ・拠点で自分がしてみたいこと

	月日	内容	投票
私がやってみたいこと	11/18	インバウンド	1
		スポーツ大会	1
		農業促進（就農促す）	5
		米を売る	4
		（地域内外の）交流イベント	9
		アドリブ演奏会場	7
		子供達を集めて読み聞かせ	3
		猿まんじゅう	1
		パチンコ屋	1
		サウナ	5
		どんどん	5
		食品加工	2
		ホテル（清山荘）	3
		映画ミニシアター	9
		ラーメン屋	13
		惣菜づくり	4
		記念品作り	3
		お昼寝	2
		楽天農業の工場誘致	8
		行列のできるチャンポン店	9
		ジビエ直売	10
	11/23	星に関する読み聞かせ	3
		農作物の出品	2
		手作り弁当	1
		弁当作り・草刈等のお手伝い	1
		観光・農園（遊ぶ・食べる）	7
		野草茶について語りたい	1
		若い人の不満なことを聞きたい	1
		自然農ネコハウス	2
		0歳児保育子育てバーバになりたい・若い夫婦の子育て支援	1
		高齢者の支援・相談	1
		10代、20代の学校（フリースクール）作り→地域留学	2
		おもてなし	2
		観光コンシェルジュ	2
		お客さんを連れて行く	2
		ダイエット	1
		散歩	2



俵山地区小さな拠点づくり基本構想

「自然」と「湯」が香る癒しのまち 俵山
～ 新しい交流を生むハブづくり ～

＜問い合わせ先＞

長門市 市民生活部 市民活動推進課

〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2

TEL 0837-23-1299 FAX 0837-22-9077